

本社 仙台市青葉区春日町7-5 TEL022(221)4601(大代)  
 青森支局 青森市古川1丁目21-11 TEL017(722)8631(代)  
 岩手支局 盛岡市築園1丁目3-6 TEL019(651)8045(代)  
 秋田支局 秋田市山王4丁目3-10 TEL018(862)6921(代)  
 山形支局 山形市松波1丁目10-16 TEL023(641)2800(代)  
 福島支局 福島市宮下町17-20 TEL024(534)0138(代)  
 東京支局 東京都江東区豊洲1-3-1 TEL03(5547)1367

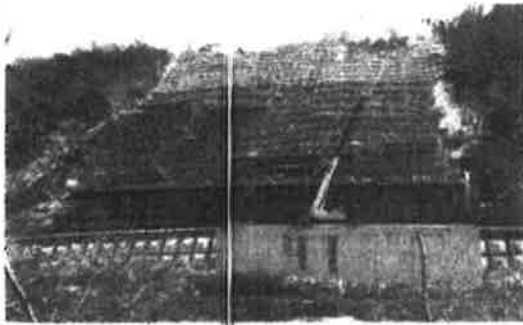
# 建設新聞

2018

2月13日

火曜日

## 工期短縮で働き方改革



政府が進める「働き方改革」を受け、各業界で労働時間削減の機運が高まる中、陽光建設（仙台市 邑上和代表取締役）は、工事の生産性向上による休日確保を進めている。宮城県登米市の法面工事の現場

### 陽光建設（仙台市）

## 法面工事で高効率足場を初採用

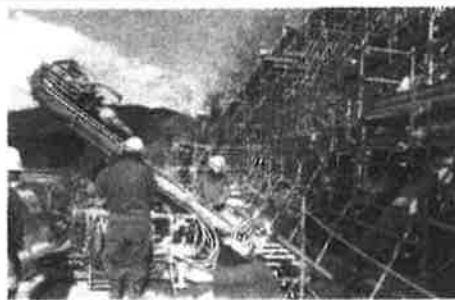
では、高効率のユニット足場を同社で初採用し、従来2カ月必要な仮設足場の工事を1カ月に短縮。4週8休実現に向けた試みを実践している。

採用した足場は日綜産業製の「法面作業構台マルチアングル工法」。

ワンタッチ式のクサビ式クランプのため、ハンマー一本で簡単に組立・解体できる。このほか▽組み立て後、重機による振動でクサビが緩まない▽斜面施工時に転倒防止用の作業員が不要で4点を一度に固められる新型フレームム

▽打ち込み・角度自在・固定などあらゆる地盤状態に対応できるベース部▽人手での運搬が可能なサイズ・重量の部材—などの特長があり、安全性と施工性が高いシステム足場となっている（NETIS登録済み）。

採用現場は宮城県発注で、県道沿いの崩壊した法面（施工延長76・2㍎）の復旧を行う「丸森災害防除工事」。施工地は登米市東和町錦織地内で、工事概要は吹付砕工（梁断面300×300）1596平方㍎、吹付砕工（梁断面600×600）2718平方㍎、鉄筋挿入工（D19 L113・0㍎）478本、アンカー工（L118・85×19・85㍎）220本、足場工（アンカー



初導入した作業足場でのアンカー施工の様子

足場）6150空立法㍎、ソイルセメント吹付268立方㍎。工期は3月26日までとなっている。7日には報道機関向けの現場見学会を開催。現場事務所で工事の説明を行った後、初採用した足場で、約

19㍎のグラウンドアンカーを施工する様子を公開した。現場代理人の佐々木健所長は導入した足場について「工期順守と施工時の見栄えが良いため導入した。単管足場だと施工に12人・2カ月かかるところが、6人・1カ月で済んだほか、作業床もフラットで、隙間が無い。整理された作業空間は安全な上、見る人に良い印象を与えられる」と話していた。

現場見学会に駆けつけた石崎正剛施工・安全部長は「現場ではU・A・Vによる写真測量なども行い、安全・生産性向上に取り組んでいる。働き方改革に寄与する製品は積極的に取り入れ、受注した隣の工区に生かしていきたい」と今後も新技術導入による生産性向上を進めていくと述べた。